

令和元年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	保健福祉部生きがい推進局子育て支援課
------	--------------------

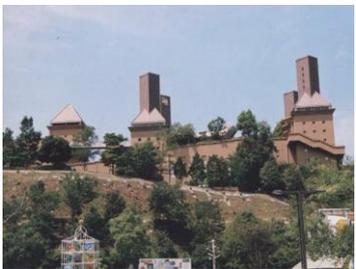
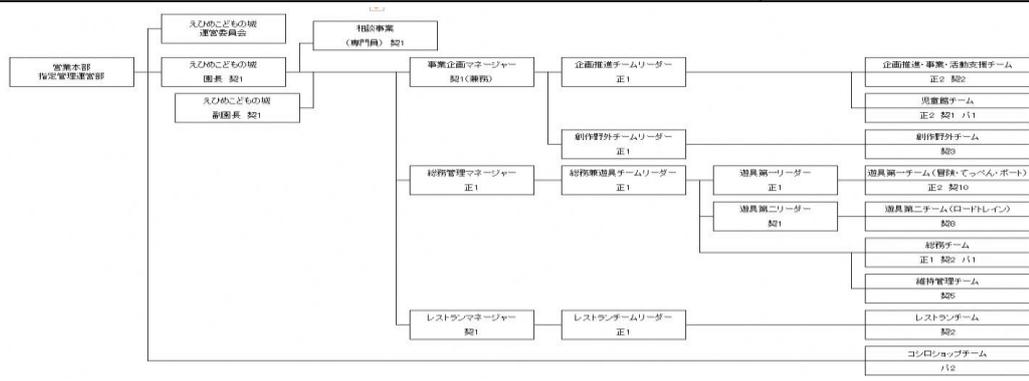
1. 施設名等 令和2年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	えひめこどもの城 (平成10年10月24日)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市西野町乙108番地1 089-963-3300 http://www.i-kodomo.jp/
----------------	---------------------------	-----------------	-------------------------------------------------------------

2. 指定管理者

指定管理者名	伊予鉄総合企画株式会社	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年間)
--------	-------------	------	--------------------------------

3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	子どもたちが豊かな自然環境の中で、仲間同士や家族等とのふれあいを通じて、遊び体験をはじめ、自然体験、社会・文化体験等さまざまな体験活動を行うことにより、創造性や自主性、社会性、豊かな感性等を育むことができるとともに、県下の児童館等児童関連施設のセンター機能や指導者の養成等を行う研究・養成機能を持つ総合的な拠点施設として設置	施設の外観
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体験施設(31.2ha) ① こどものまちゾーン 大型児童館<1階:こどもタワー等、2階:多目的ホール等、3階:ワークショップ等、屋上:探索園> ② イベント広場ゾーン 芝生広場、くわがたのステージ、みずべのレストラン等 ③ 創造の丘ゾーン 創作工房、ハーブ園、花の丘等 ④ 冒険の丘ゾーン 冒険ステーション、四輪バギー、てっぺんとりで、ボブスレー、てんとう虫のモノレール等 ⑤ ふれあいの森ゾーン 森のとりで、森の広場、野鳥の森等 ・その他(駐車場:松山側駐車場(乗用車395台)、砥部側駐車場(乗用車105台)) 	
指定管理者が行う業務	<ul style="list-style-type: none"> 1 事業の実施に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ①体験機会提供業務 ②遊具運行管理業務 ③活動支援業務 ④研究養成業務 ⑤その他の業務 2 施設等の利用に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ①施設等利用許可業務 ②利用促進業務 3 施設等の維持管理に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ①施設保守管理業務 ②保守点検業務 ③建築物環境衛生管理業務 ④備品管理業務 ⑤植栽管理業務 ⑥清掃業務 ⑦保安警備業務 ⑧駐車場管理業務 ⑨その他の業務 4 管理運営業務 <ul style="list-style-type: none"> ①事業計画書等の作成 ②事業報告書の作成 ③事業評価業務 ④関係機関との連絡調整 ⑤指定期間終了後の引継業務 5 その他こどもの城の管理運営に必要な業務 	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input checked="" type="checkbox"/> 採用している <input type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) 駐車場共有化の対象である総合運動公園との均衡をとるため、駐車場料金を引き上げ。	
開館日・開館時間	○開園日:毎週水曜日、年末年始(12/29~1/1)を休園日とし、それ以外は開園。(ただし、学校長期休業期間(春期、夏期、冬期)に小学校及び中学校が長期的に休業する期間。)及びゴールデンウィーク期間(4月下旬から5月上旬にかけて祝日及び日曜日が集中する期間)に含まれる水曜日は開園する。 ○開園時間:9時~17時(ただし、夏期の学校の長期休業期間中は9時~18時) :夜間イベントの実施日は22時まで開園。	

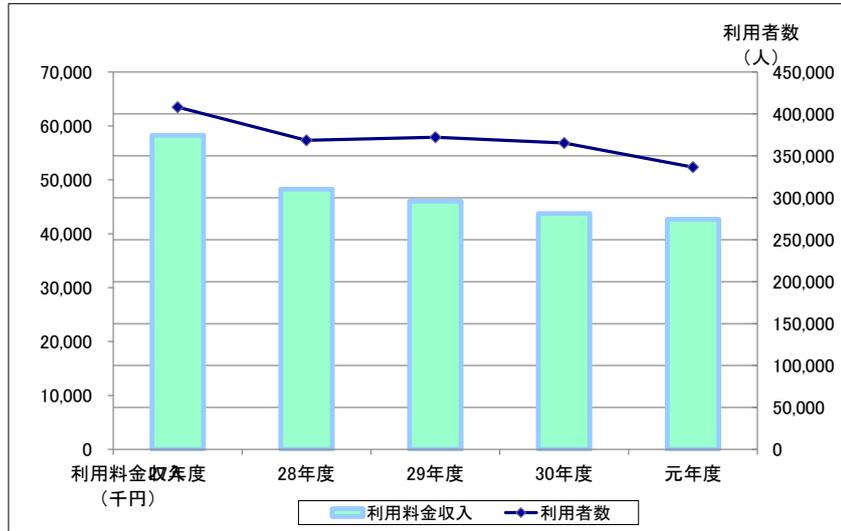
4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県委託料(千円)	200,676	200,676	200,675	200,675	204,486	205,061

5. 施設の利用状況

(1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度増減率
利用者数(人)	408,090	368,590	372,296	365,250	336,530	△ 7.9 %
利用料金収入(千円)	58,246	48,250	46,038	43,755	42,703	△ 2.4 %



(2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

(利用者数)

新型コロナウイルス感染症対策のための一時休園により2月後半から入園者数が減少。

(利用料金収入)

6. サービスの質向上に向けた取組み

ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は令和元年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

令和元年度の内容
○学校の夏季長期休業期間中における閉園時間の1時間延長、夏季及び冬季の夜間イベント実施、学校長期休業期間中及びゴールデンウィーク期間中の全日開園、とべ動物園との駐車場共有化、毎月第二火曜を「家族の日」として成人の遊具無料化、「夏休みイベントガイド」の作成・配布やLINE@、Facebook、Twitterを活用し情報発信を行うなど、サービス向上及び利用促進の取組みを行っている。 ○学校夏季休業期間にあわせ、企画展「不思議な写真を撮る展」を開催。お客様サービスとして半券に遊具無料券を付加し、利用者に喜ばれた。 ☆コシロミュージアムショップを母子寡婦連合会から指定管理者直営の「コシロショップ」としてリニューアル。 ☆夏以外に、秋・冬・春の季節ごとにイベントガイドを作成し、県下の児童に配布を行った。また、Instagramでの情報発信の他、Youtube公式チャンネルを開設し、コロナ禍で自宅待機せざるを得ない子どもたちの為に幅広い室内遊びや野遊びを提供する「あそびの動画」の配信を3月に開始した。 ☆中・高・大学生など新たな客層に向けたイベント「松丸亮吾からの挑戦状」や、夜間イベント時に無料のレーザーショーを実施し、コロナ禍影響前の12月末時点では来園者前年対比15,330人増と多くのお客様に楽しんでいただいた。

令和2年度の内容(予定含む)
○三密回避など感染症対策に沿ったイベントの実施。 ○Youtubeインストリーム広告などのデジタルマーケティングを積極的に活用し、利用促進を図る。 ○えひめ愛顔の子ども芸術祭の本開催。 ☆新遊具ジップラインのお披露目イベント実施、運行開始。 ☆設立予定のえひめこどもの城・とべ動物園・愛媛県総合運動公園の県立3施設ネットワーク協議会によるエリア一体的な広報活動の実施。

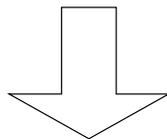
イ) 利用者からの声への対応状況(令和元年度)

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容
(利用者からの評価) ・小さい頃、砥部に住んでいる祖父母とよく遊びに来ました。今日は、もうすぐ3歳になる娘と来ました。また遊びに来ます。 ・ロードレインの乗り放題が良かったです。 ・スタッフの皆さんがやさしくて助かっています。 (利用者からの苦情・要望) ・キャンプの機会を増やしてほしい。 ・道がわかりにくい。お知らせがなさすぎ。

利用者からの苦情・要望への主な対応状況
(利用者からの苦情・要望への主な対応状況) ・7月、8月にキャンプを4回実施。デイキャンプは7月～2月で7回実施した。 ・案内掲示を増やした。

7. 令和元年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>今年度の入園者数は、336,530人となり、前年比28,720人減と厳しい結果となった。4月5月は過去最高の入園者であったが、長梅雨とその後の猛暑で7月8月は過去最低となった。10月11月は過去最高に近い入園者があり、新型コロナウイルス感染症の影響が出始めた2月末までは、前年比10,110人増と好調であったが、県との協議を経て3月2日から体験コーナー全て中止。3月7日から26日の間、屋内施設(児童館、レストラン、創作工房)閉館。27日から一部再開したものの3月前年比38,830人減となった。</p> <p>ゴールデンウィークや秋の行楽シーズンにキャラクターショー、松丸亮吾の謎解きイベント、フリーマーケットなど各年代層に対応した大型イベントを実施し、多くのお客様にお越しいただいた。また、小学校1年生から参加できるキャンプなど、子どもの自主性を育む児童館ならではのイベントや保護者も参加したくなるワークショップなど、多種多様な企画を実施し、好評を得た。</p> <p>耐用年数を大幅に超えた設備や遊具が多いが、えひめこどもの城魅力向上戦略をふまえた大型修繕や新規遊具の準備年として、どうすれば既存のお客様が「またきたい！」と思っただけか、どうすれば新たな年代層のお客様が「行ってみたい！」と思っただけかを職員全員で日々考え実行し、魅力ある施設づくりに取り組んでいく。</p>	<p>ゴールデンウィークや秋の行楽シーズンにキャラクターショー、松丸亮吾の謎解きイベント、フリーマーケット、小学校1年生から参加できるキャンプなど、子どもの自主性を育む児童館ならではのイベントや保護者も参加したくなるワークショップなど様々な年代に対応した大型イベントを実施し、中・高・大学生など新たな年齢層の利用者の増加に努めた。</p> <p>学校の夏季長期休業期間中における閉園時間の1時間延長や全日開園、夏季及び冬季の夜間イベント実施、とべ動物園との駐車場共有化、毎月第二火曜日を「家族の日」として成人の遊具無料化など、サービス向上や利用促進に取り組んだ。</p> <p>年度途中まで入場者数は、前年比で増加傾向にあったが、2月末から、新型コロナウイルス感染症対策のため、体験コーナーや屋内施設の閉館を行い、前年比28,720人減という結果にはなった。広告事業では、InstagramやYouTube公式チャンネルを開設し、室内遊びや野遊びを提供する「あそびの動画」の配信を行い、新型コロナウイルス感染症の影響で自宅待機をしている子どものために情報発信を行った。</p> <p>えひめこどもの城がこれから先も幅広い年齢層に親しまれる施設であり続けるために、施設の安全性確保やソフト事業の拡充に取り組み、来園者の増加に繋げてほしい。</p>



8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>平成18年度の指定管理者制度への移行以来、マスコットキャラクターなどによるPR、無料パスのキャンペーン、開園時間の延長、夜間イベントの実施など従来になかった取組みが好評を博し、制度導入直前の来園者数の落ち込みが改善されており、指定管理者制度導入の目的に合致した、一定の成果が上がっている。</p> <p>えひめこどもの城が、これから先も多くの幅広い年齢層の方々に親しまれる施設であり続けるために、施設及び遊具の点検や補修に必要な経費を確保するとともに、利用者のニーズに応じた効果的かつ柔軟な企画・運営について検証していきたい。</p>
